

## 広報資料

No.11-004

2011年6月22日

## 第13期決算および役員を選任について

アイベックスエアラインズ株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：服部浩行）の第13期（平成23年3月期）決算について下記のとおりお知らせいたします。また、本日開催されました定時株主総会にて下記のとおり取締役の選任がなされましたので併せてお知らせいたします。

## 記

## 1. 営業実績

(単位：千円)

区分	前会計年度 (第12期)	当会計年度 (第13期)	増減
事業収益	6,816,591	<b>8,406,605</b>	1,590,014
経常利益	338,130	<b>354,900</b>	16,770
当期純利益	97,101	<b>234,894</b>	137,793
1株当たり当期純利益 (円)	1,155.96	<b>2,796.36</b>	1,640.40
総資産	9,534,656	<b>11,595,355</b>	2,060,699
純資産	63,327	<b>298,221</b>	234,894

## 2. 事業の概況

当会計年度における我が国の経済は緩やかな回復基調で始まり、企業業績には改善の兆しが見られました。第3四半期以後、円高が一層進行したことにより先行き不透明感が生じ、これまで持ち直しつつあった個人消費は収縮傾向へと転じましたが、航空需要は引き続き堅調に推移しました。しかしながら、3月11日に発生した東日本大震災により、東北地方を中心に幅広く社会の機能が損壊する未曾有の事態へと状況は一変しました。

当社におきましては、新規に受領したCRJ700NGの2号機を路線投入すると共に、既存のCRJ100/200の稼働率の向上を図るなど、新規路線の開設及び増便に注力いたしました。これにより当社の運航路線は11路線、運航便数は38便/日となり、前期末の9路線、30便/日に比し、2路線、8便/日増加いたしました。また、当社が運航する全ての路線を全日本空輸株式会社とのコードシェアとするなど、さらなる事業収入の安定化を図りました。ところが、東日本大震災により、当社の運航拠点である仙台空港が壊滅的な被害を

受け、当社も従業員のおよそ7割が被災するのみならず、CRJ700NGの予備部品の全て及び地上支援器材の大半を失う甚大な損害を被りました。このような中で当社は、震災発生時から一旦は全便欠航を余儀なくされたものの、臨時運航事務所を大阪国際空港ビル内に設けるなどにより運航体制の再建に努め、大阪国際空港・福島空港線の4往復を3月17日から再開させました。その他の路線も早期に運航を再開させるべく運航体制の再構築に努めました。

この結果、事業収入は8,406百万円となり前年同期（6,816百万円）比で1,590百万円（23.3%）増加しました。事業費は7,666百万円となり前年同期（6,082百万円）比で1,584百万円（26.0%）増加しました。販売費及び一般管理費は299百万円となり前年同期（315百万円）比で16百万円（5.1%）減少しました。営業利益は440百万円となり前年同期（418百万円）比で21百万円の増加、経常利益は354百万円となり、前年同期（338百万円）比で16百万円の増加、当期純利益は234百万円となり、前年同期（97百万円）比で137百万円の増加となりました。

### 3. 今後の見通しと課題

仙台空港復旧後、仙台空港を中心とする運航体制を速やかに取り戻すと共に、新たに受領するCRJ700NGの3号機を使用して中部国際空港に就航し、路線の拡大を行います。また、安全運航に留意しつつ、更なる収益性の向上に努めるとともに、昨年9月から利用可能となったシミュレーターを活用して、運航乗務員、整備士等の育成に努め、総合的な生産体制の強化を積極的に行います。

### 4. 取締役

#### 【取締役】

役職	氏名	備考
代表取締役会長	浅井 孝男	重任
代表取締役社長	服部 浩行	重任
取締役総務部長	久保 信一郎	重任

## 貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額
<b>【資産の部】</b>	
流動資産	3,002,462
固定資産	8,592,892
有形固定資産	7,872,204
無形固定資産	61,112
投資その他の資産	659,575
資産合計	11,595,355
<b>【負債の部】</b>	
流動負債	5,153,210
固定負債	6,143,922
負債合計	11,297,133
<b>【純資産の部】</b>	
株主資本	
資本金	4,200,000
資本剰余金	8,880
資本準備金	8,880
利益剰余金	△ 3,910,658
繰越利益剰余金	△ 3,910,658
純資産合計	298,221
負債・純資産合計	11,595,355

## 損益計算書

自 平成22年 4月 1日

至 平成23年 3月 31日

(単位：千円)

科 目	金 額
事業収益	8,406,605
事業費	7,666,300
売上総利益	740,305
販売費及び一般管理費	299,897
営業利益	440,408
営業外収益	75,296
営業外費用	160,805
経常利益	354,900
特別利益	1,303,552
特別損失	1,416,709
税引前当期純利益	241,742
法人税、住民税及び事業税	6,848
当期純利益	234,894